

件名	東浦町保健センター運営協議会	
日時	令和6年8月22日（木曜日）午後1時30分から午後2時40分まで	
場所	東浦町文化センター 第2会議室	
出席者	委員	山本原嗣（会長）、岡本嘉仁（副会長）、長坂潔道、坪井信二、水野善久、恒川渉、橋本一男、加藤美年子、柴田裕子、山口和輝
	事務局	鈴木健康福祉部長、三浦健康課長、小島課長補佐兼健康係長、成田成人保健係長、増田主事
欠席者	竹内真奈美	
傍聴者	なし	
内容	1 あいさつ 2 議題1 令和5年度東浦町保健センター事業実施状況について 3 議題2 令和6年度東浦町保健センター事業計画について 4 その他	
記録		
事務局	あいさつ	
	委員の委嘱 出席者自己紹介 会長・副会長選出	
委員	会長に山本委員を、副会長に岡本委員を推薦。	
事務局	異議がないため、会長は山本委員に、副会長は岡本委員に決定。 会長に議事の進行をお願いする。	
会長	出席委員10名を確認し、会議の成立を確認。	
事務局	議題1「令和5年度東浦町保健センター事業実施状況について」を説明。	
会長	質疑を求める。	

委員	特定健康診査の健診受診率と特定保健指導の終了率が全国や愛知県と比較し東浦町はとても高い。何か特別なことをしているのか。
事務局	かなり昔のことだが健診の勧奨に力を入れていたことがあり、その影響か高齢者ほど受診率が高い。後期高齢者が対象である長寿健康診査も受診率は6割を超えており、健診は行くべきものであるという意識付けができています。しかし徐々に受診率は下がってきており、若年者に対しての普及啓発と無関心層に健康意識を持たせることが課題。
委員	全国や愛知県よりも東浦町の方が受診者の平均年齢が高いということか。
事務局	59歳までは受診率が低く4割を切っているが、60歳以上は5割前後、とりわけ70歳以上は6割以上と高いことからわかるように、年齢が上であるほど受診率が上がり、若い人ほど勧奨をしても受診につながらない状況である。
事務局	以前は集団健診を行っていたこともあるが、近所に内科などの医療機関ができ、町内医療機関の協力のもと個別医療機関への委託となったことにより、受診率が向上したという経緯がある。また、地域の健康づくり同好会との繋がりの中で、がん検診や健康診査の受診を勧めてきたことも、高齢者の受診率が高い理由の一つと思われる。
事務局	議題2「令和6年度東浦町保健センター事業計画について」を説明。
会長	質疑を求める。
事務局	その他、保健センターの運営等について、意見・要望を求める。
委員	実施した事業や参加人数などはまとめられているが、どのような数字になることがベストなのか、到達目標として何を設定するのが具体的に書かれていない。そのため1年間が終わり反省をする際の着眼点が不明瞭。また、9020はハードルが高いため、その目標を補足するものが必要。
事務局	目標について、保健センターでは健康プランを立てており、様々な分野で指標を定めている。来年度に現プランの評価及び新プランの作成

	<p>を行うため、改めて目標を示す予定。9020 について、現時点で想定より多い 20 名ほどの表彰対象者がいる。さらに対象者を増やすためには、歯のことだけでなく健康寿命を延ばすことが重要。</p>
委員	<p>9020 を達成するためには、重要な担い手となる歯科医師のサポートが必要不可欠。</p>
委員	<p>歯を守ることは他の健康にも繋がると言われており、今年度から歯周病と糖尿病の関連についての事業が開始した。歯周病が悪化すると糖尿病も悪化するという関係性が指摘されている。歯科と医科の連携によって健康寿命を延ばし、町民の歯の本数を残せるよう努力する。</p>
委員	<p>ポピュレーションの指導や健康づくりなど幅広く健康増進事業をしているが、対象として同じ人が参加するなど PR 不足を課題と感じる。良いサービスが多くあるが未だ認知度が低いため、近隣施設と協力することで健康寿命を延ばせるとよい。</p>
委員	<p>おからや摘果ブドウを用いたりボーングルメ事業を推進しており、学校を通して子供たちに対して周知している。最近はコミュニティに入らないために広報が配布されない家庭も増え、どのように周知をしていくかを考える必要がある。様々な方法を駆使した周知を行うと新たな参加者が出てくる可能性も。</p>
委員	<p>喫煙防止教室やいのちを大切にす教育を学校で行っているとあるが、実績をみると毎年実施している学校と実施されていない学校がある。どの学年でやるか定めることが必要なのでは。性教育やいのちを大切にす教育は家で教えられるものではないが、子どもにとって必要なこととして義務教育で教える必要がある。</p>
事務局	<p>子どもを通じた教育は重要であるため継続して行っていく。</p>
委員	<p>広報 7 月号に同好会の案内があったが応募はあったか。</p>
事務局	<p>関心を持った方から問い合わせがあり、それぞれ希望する同好会に声掛けをした。登録をしたという話は現時点では聞いていない。</p>
委員	<p>同好会についての情報を出しても会員は少なくなっている。男性の筋トレ教室は今年やる予定はないか。</p>

事務局	<p>今年度ではなく来年度に向けて、同好会活動支援の一環として短期間の教室をどこかの地区で実施できるよう、来年度の予算策定に向けて計画中である。</p> <p>閉会</p>
-----	--